

用言等換言辞書の構築

電気系 山本研究室
09319689 吉倉 孝太郎

はじめに

1 / 8

換言：ある言語表現を別の言語表現に変換する処理

犬と散歩する → 犬と歩く

散歩すると歩くは換言可能な対である

このような換言可能な対を集めることで

- ・文章の平易化
- ・語彙の制限による処理精度の向上

現在の換言処理

2 / 8

- ・シソーラス(上位下位関係を使って換言)
 - ・国語辞書の語釈文
などを用いて換言処理を行なっている
- これらの換言が人間の感覚に沿った換言
となっているかどうか検討されていない

人間の感覚に沿った平易な換言を行いたい

→現状、人間の感覚に沿った換言を行うための
言語資源は存在しない

→本研究では人間の感覚に沿って平易に
換言することの出来る言語資源を構築する

- ・換言対象語は形態素解析器JUMANから抽出
- ・換言対象語の品詞は動詞、サ変名詞、形容詞、副詞
- ・なるべく平易な表現に換言する
- ・換言にはシソーラスや国語辞書等を利用しない

換言手法-基本的な流れ

5 / 8

換言の流れ: 例として動詞”和える”を利用

①”和える”を使った例文を考える

ごまと和える

②”和える”と置き換えて意味の通じる語を考えて換言

ごまと和える → ごまと混ぜる

③”和える”と”混ぜる”は換言可能として辞書に追加

和える-混ぜる の対を取得

換言手法-無記入の例

6/8

効率良く構築するため以下の場合換言しない

- ・より平易な表現が思いつかない
→ 投げる、言う、話す など
- ・換言するときの必要語数が多い
→ 一進一退する など
- ・意味が明確に分からない
→ 笑み割れる、かがる など

作業結果

7/8

品詞	換言対象語数	換言対作成数	無記入数
動詞	3,608語	3,206語	481語
サ変名詞	5,627語	4,494語	1,141語
形容詞	2,335語	1,851語	496語
副詞	1,243語	785語	463語
合計	12,813語	10,336語	2,585語

→ およそ13,000語の単語を換言して
約10,000語の換言対を得られた

- ・無記入としたものについて
換言困難と判断したものがおおよそ3分の1
理解できない換言対象語がおおよそ3分の2となった
→無記入の妥当性や理解できないものへの対策

今回構築した辞書を用いて換言出来るようになった
→実際に換言を行った結果を考察し、
辞書に反映させることで辞書の質を向上させる

ご清聴ありがとうございました。

換言手法-特殊な換言①

- ・多義性がある語の換言

複数文脈に使われる可能性のある語を換言する場合
それぞれについて換言を行う。

例：仰ぐの場合

空を**仰ぐ** → 空を見る

師匠を**仰ぐ** → 師匠を尊敬する

指示を**仰ぐ** → 指示を求める

この場合、仰ぐの候補は3つ全て追加することになる

換言手法-特殊な換言②

- ・格変化を伴う換言

換言する際に格関係を修正する必要がある場合がある

例：背く

上司に背く → 上司に裏切る → 不適切

上司に背く → 上司を裏切る → 適切

この場合「に背く」を「を裏切る」へと換言することになる

換言手法-特殊な換言③

・慣用的表現

複数形態素の一部に換言する語が含まれている

例: 入れる

ギターを**手に入れる** → **入れる**単体での換言は不可
→ **ギターを得る**への換言は可

この場合、**手に入れる**はまとめて**得る**と換言する